

指定管理者による公の施設の管理運営状況

平成30(2018)年度

施設名	栃木県体育館分館
施設所管課	教育委員会事務局スポーツ振興課
指定管理者	環境整備株式会社(法人番号7060001001200)
指定期間	平成26(2014)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市今宮4-7-38
施設の概要	①敷地面積 5,769㎡ ②延床面積 1,288㎡ ③アリーナ 750㎡
業務内容	①栃木県体育館分館の維持管理に関する用務 ②栃木県体育館分館の施設等の利用許可にかかる事務に関する用務 ③栃木県体育館分館の施設の運営に関する用務

2 収支の状況

平成30(2018)年度

(千円)

収入		支出	
指定管理料	7,508	事業費	
利用料金収入	1,447	管理運営費	3,575
その他収入(預金利息)	1	人件費	4,090
合計	8,956	合計	7,665
指定管理業務収支差額①	1,291		
自主事業	1,278	自主事業	1,072
自主事業収支差額②	206		
収支差額(①+②)	1,497		
備考(※1 その他収入の主なものを記載) 預金利息 1千円		備考(※1 その他支出の主なものを記載)	

平成29(2017)年度(前年度)

(千円)

収入		支出	
指定管理料	7,560	事業費	
利用料金収入	1,354	管理運営費	4,032
その他収入(預金利息)	1	人件費	3,922
合計	8,915	合計	7,954
指定管理業務収支差額①	961		
自主事業	1,390	自主事業	1,050
自主事業収支差額②	340		
収支差額(①+②)	1,301		
備考(※1 その他収入の主なものを記載) 預金利息 1千円		備考(※1 その他支出の主なものを記載)	

3 利用状況

施設名		平成29(2017)年度 (前年度)	平成30(2018)年度
		メインアリーナ 及び2階卓球場	開放日数
	利用者数	12,020人	12,543人
	平均利用者数	38人	39人

4 サービス向上に向けた取組

<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務研修（自主事業）実施 2. 危機管理対策（緊急時連絡体制の確認） 3. 更衣室内への長椅子設置 4. 新規利用見込み者への施設案内実施 5. 利用者を対象に冷蔵庫を設置（自動販売機が未設置の為）
--

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 意見箱の設置 意見箱を設置し、利用者意見の把握に努めました。 2. 口頭による意見の把握方法 意見、要望事項等があった場合は、監視社員は必ず内容を記載し、総括責任者に報告することを徹底、口頭による意見を把握しています。 3. 総括責任者は、折りを見て利用時間帯に訪問して、直接利用者からの意見、要望事項等の把握に努めました。 その結果、お客様からは、「スタッフの対応が丁寧」「清掃が行き届いている」等の回答をいただいております。 	
主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・設備に関する要望事項 1. 自転車置き場設置 2. ボクシング用マットのへこみ 	スポーツ振興課へ要望事項報告済 都度対応
主な利用者意見（積極的評価）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社員の対応が親切かつ丁寧である。 2. 建物内外の清掃がよくされており、きれいになっている。 3. 消毒液を設置してあり感染予防に前向きにとり組んでいる。 	

6 指定管理者による自己評価

<p>成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組</p> <p>1. 新規のお客様から分館の利用に関するお問い合わせがあった時は、本社スタッフ・分館スタッフが利用案内をお渡しするなどして、利用に関して丁寧な説明や対応をこころがけました。</p> <p>2. 経年劣化による備品の破損・消耗が多く、天井照明器具の動作不良や水道の石鹸入れ部品の磨耗、電球類の寿命などあったため、利用者の安全確保、環境衛生の保持・改善のために、不具合の発見後速やかに現物を確認し、修理・交換を実施した。</p>
<p>利用者サービス向上を図るための取組</p> <p>1. ボクシングリングのマットの経年劣化により凹凸が生じ、利用者がつまづく危険性があったため、清掃作業員が随時確認し、凹凸が見られるときには本社担当が修理しました。</p> <p>2. 予算の関係で、施設常駐者を配置できない等の制限がある中で、卓球利用者を先着順で利用できるようにすることにより、近隣の中高校生に「憩いの場」を提供しています。</p>
<p>今後改善・工夫したい事項</p> <p>1. 経年劣化による備品の損耗が今後も予想されるため、スタッフ・本社担当が備品の状態を都度確認し、必要であれば交換・修理するなどし、お客様の快適な利用・事故防止を図りたい。</p> <p>2. 卓球利用の人数・件数ともに年々減少しているため、卓球用の備品を充実させ、PR活動をし、利用者の増加につなげたい。</p>

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	ホームページや窓口を活用して利用促進を図り、平等性は確保されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	適正に管理されている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	高齢者、障害者等に対する配慮がなされており、平等利用が確保されている。	C
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	目的に沿った事業が実施されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	卓球、体操等のボクシング以外の利用もでき、県民サービスの向上に努めている	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	意見箱を設置し、利用者ニーズの把握に努めている。	C
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	適切に対応している。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	日々の安全点検・定期点検を行い適切に管理している。	C
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	新聞折込チラシの配布地域・配布方法を改善し、参加者数の増加につな	B

		げた。	
3. 管理を 安定的に行 う物的人的 基礎	①組織体制は適正か	本社と現場管理者が適切に連携し、 適正な管理運営を行っている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	バランスがとれている。	C
	③経費の縮減に取り組まれてきたか	会社で一括購入した消耗品を利用す るなど経費縮減に取り組んでいる。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	引継ぎの徹底、社内研修など適切な 人材育成がなされている。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応） は確保されているか	緊急連絡網等を事務所内に掲示し、 体制も確保されている。	C
	⑥県や関係機関との連携体制は確保され ているか	確保されている。	C
4. 個人情 報保護	①個人情報の保護についての措置が計画 通り実施されているか	個人情報取扱特記事項を遵守し、適 正な取扱をしている。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開に関する規程は定めている が、当該年度において開示請求はな かった。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がな されているか	利用者と意見交換を行うことでニー ズを把握し、自己評価を適切に行っ ている。	C
	②自主事業が計画どおりに実施されてい るか	計画どおり実施されている。	C
	③イベント等を実施している場合は、地 域との連携が図られているか	総合運動公園や掲示板に利用案内を 掲示し、周知している。	C
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ 削減等）がなされているか	美観維持に努め、緑化保全対策を推 進している。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項	—	—
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ボクシング利用に加え、自主事業（体操教室等）の実施により、県民ニーズに配慮した管理運営や利用者サービスの向上に取り組んでいる。 ・日常的な安全管理及び利用環境の整備に努め、効果的な施設の運営を行い、適正に管理している。 			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。